

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハケ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772.

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

本年度最終回 (悦)

秋晴れが続き、今回は雨の心配は全くなく開催できました。気温も低くなく、過去一番の穏やかな日で、紅葉、黄葉も過去一番と思われる程で、気持ちが良い最終回になりました。

観察ルートは、野鳥の小径の途中から裏道に入り頂上へ。そして北コースを少し下り、戻って昼食。昼食後、頂上コース下り駐車場へ戻る、としました。

今回は、紅葉・黄葉の様子である程度樹種が特定できること、落葉を見ることでその付近の植生が分かること、樹木の冬芽、葉痕、樹木の種蒔き作戦などに注目して観察しました。



それぞれの紅葉 (洋)

まっ黄色のダンコウバイ、鮮やかなオレンジ色のカマツカ、緑が抜け落ちたようなコシアブラ。ヤシャブシやハンノキは緑色のまま落葉。根粒菌との共生によるとのこと。10月に学習したキノコの共生菌(菌根菌)とは違う??根粒菌はバクテリア、菌根菌はカビ、全くの別物とのことに納得。どちらも植物には有りがたい存在かな。冬青の緑の葉は赤い実とでインパクトがあった。晩秋の森を満喫しました。

植物の個性 (桂) 写真(悦)

根粒菌がついているマメ科のハンノキ、ヤマハンノキ、ヤシャブシ、フジツル、ニセアカシアの他にも緑色の葉のまま枯れていく植物がありそうです。

今回見た限りでは、クワ、サワフタギ、バッコヤナギ等、色々調べると面白そうですね。植物の個性が一目でわかる時期でした。また、来年！



記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。

《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館
茅野市北山 カフェ 午後の森
《問合せ》 NPO 法人 ハケ岳森林文化の会
☎: 0266- 75-1772

11月の市民の森では、 (su) 写真(悦)

足元の落ち葉の音を聞きながら、視線の先にはかわいらしい木の実がいろいろ、ふと見上げれば空の青さに映える紅葉...を楽しむことができました。

オオムラサキの幼虫には出会えませんでした。きっと無事に冬を越してくれることでしょう。来春にまた市民の森に出かけたいと思います。



私も少しは見習って (直) 写真(悦)

花の時期、種子の散布方法、落葉の色、卵を産むところ、幼虫と成虫の姿形、生きる場所、、、みんな違って、観察すればするほど生きものの多様性に驚き続けた一年でした。

そして、今年最後の観察会では、多くの植物が冬芽花芽の準備完了！すごいです！私も少しは見習って来年に向け、大掃除をいつもより早めにしようかと思いますが..。



コナラ

11月に会ったむし達(悦)

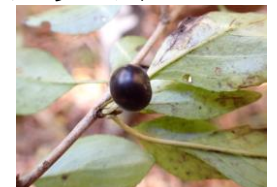
- 🐛キタテハ②113
- 🐛ミドリシジミ卵

11月に観察した花 (悦)

- 🌸ヒメジョオン②86
- 🌸ハナタデ②96
- 🌸センボンヤリ閉鎖花①111
- 🌸ノコンギク①110
- 🌸リンドウ①112

11月に観察した果実 (悦)

- キミズミ①71
- ガマズミ①83
- コバノガマズミ①76
- オトコヨウゾメ①76
- ソヨゴ①133
- カマツカ①135
- ムラサキシキブ①93
- ミツバウツギ①74
- アブラチャン①66
- ウリカエデ①68
- カラコギカエデ①132
- ヤシャブシ①131
- ネズ②98
- アカマツ①116
- コクサギ①137
- サワフタギ①74
- クサギ①100
- クリ①123
- コナラ①121
- イケマ①93
- キササゲ②105
- イボタンキ②80
- アマチャヅル
- クロウメモドキ



落ち葉のじゅうたんを踏んで (黒)

ハラハラと風を受けながら舞い落ちる落ち葉。市民の森は落ち葉のじゅうたんが敷かれています。

緑のまま惜しげもなく散るものもあれば、真っ赤に色づいて思わず足を止めて見入る葉もあり、楽しい山道歩きができました。

ボタンツルの種が、キラキラと光る綿毛を付けていました。みんな、来年のために備えているんだ。

朴の木落ち葉と、とちの木落ち葉の違いを確認できました。これは今回の収穫でした。



上を向いて歩こう (白)

ガサガサと落ち葉を踏みしめての観察会。

○葉柄だけ赤いミズキの葉は紅葉なし。

○落ちて存在感のあるホウの葉っぱ、見上げれば2本の木トチノキとホウノキ？断定できず。沢沿いの小径の脇あるトチノキの落葉を手に取り、手触り、葉の形、色も全く違った。2本はホウノキとガッテンしました。来年は花に出会ってみたいものです。

○エゾエノキは、ミドリ色を残して乾燥、部分的に黒くなり葉が枝にしっかりと付いています。オオムラサキ幼虫の食草、山頂コースには観察木が多数。

○コシアブラの葉は黄色くなり太陽の光が透けて見えます。あまりにも樹高が高くなり来春の山菜採りでは見上げるだけになりそうです。



青少年自然の森で特別プログラム 2022.11.15 (悦)

毎年、月例観察会では年に1回、市民の森と異なる場所の観察を行う特別プログラム、最後の1年の観察を振り返る纏め会を、実施しています。

しかし、今年はコロナ禍で特別プログラムを実施するチャンスを逸したのと、雨天で2回野外観察を中止したので、最後の纏め会を室内ではなく、市民の森以外での野外観察を実施することにしました。

観察場所は、茅野市青少年自然の森にしました。この森は標高的には市民の森とほぼ同じですが、植物園的な発想から多くの木が植栽されています。その意味で、市民の森で観察できない樹木が観察できます。

葉が落ちた今の時期は樹木の同定は難しくなりますが、落葉、落ちた実などから推理するのも、楽しい作業になりました。

また、野鳥の観察会でお世話になっている両角さんがこの森の管理棟にお勤めされているので、冬鳥についてのお話を伺うことができました。

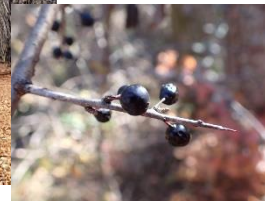
参加された方は、この森は初めてという方が多く、こんな森が身近にあることのPRにもなったようです。



ウメトドキ



クロウメトドキ



今年の纏め

偶然、沢山の好奇心の目 (口)

におい観察のために切ったミズメの小枝、何人もの手(鼻)を渡り目のいい方が気付く「なにかがみついている」。

さっそく接写撮影。整然と産み付けられた卵は、「アオクチブトカメムシの卵」と同定された。

今年も偶然と仲間たちの好奇心で新しい出会いがありました。

市民の森に懐の深さを感じた2022年の観察会でした。

沢山の新しい生き物たちとの出会い (益)

春からの月例観察会では大変お世話になりまして、本当に有難うございました。

今年初めての参加にも関わらず、皆さまに毎回あたたかくご指導頂きまして、心から感謝致しております。

コロナ禍の中、ワクチン接種の副反応など新型コロナウイルスには手こずりましたが、それらを超えて、毎回の観察会で教えて頂いた生き物達の鮮やかな出会いには大変刺激を受け、インスピレーションも頂きました。

来春からも出来るだけ沢山の会に出席出来ることを、そして沢山の新しい生き物たちとの出会いを楽しみにしております。

来春からも出来るだけ沢山の会に出席出来ることを、そして沢山の新しい生き物たちとの出会いを楽しみにしております。

来期は課題を持って (昭)

皆様お疲れ様でした。又年間を通して資料を準備して戴いた方々に感謝致します。

今回は、より身近な里山観察会。どの植物たちも来春の準備をし、沢山の落ち葉も、次回の観察会頃には、虫達により分解され、見えなくなると思うと、自然界の凄さに驚かされます。

来期には新しい緑・景色が、課題を持って、より多くの人と観られる事を楽しみにしています。

皆さん一年間お世話になりました。(中)

今年から参加させていただいて、詳しい説明とお仲間に声をかけていただき楽しく参加が出来ました。

市民の森の植物、樹々の見分け方はまだ全然覚えられません。

森の中を歩く気持ち良さ、落ち葉と樹皮の違いなどじっくり観察できて楽しかったです。ありがとうございました。

また来年も皆さんとお会いしたいと思います。

よろしくお祈りします。